

総合交通政策調査特別委員会

(平成25年3月13日)

豊田政典委員長

それでは、総合交通政策調査特別委員会を開催いたします。

みなさんお疲れのところありがとうございます。

本日は、先に決定いただきました、近鉄からの参考人招致について、案を提示いたしますので、決定していただき、議長に報告して招致の手続きをお願いしたいということで、期限もありまして、急遽集まっていただきました。

前回、ご議論いただいた内容にそって、あの後、都市整備部のほうで近鉄と事前に打ち合わせをしていただいた上で、本日の資料となっております。近鉄からの参考人招致について（案）という資料をお配りしておりますので、順次説明させていただきますが、まず、招致させていただく参考人の方ということで、打ち合わせをしていただいたところ、3名の方という近鉄からの回答というか希望が来ております。組織図をあわせてお配りしました。肩書きだけですけれども、企画統括部営業企画部長、それから真ん中あたりの名古屋輸送統括部運輸部長、そして肩書きはありませんが、企画統括部営業企画部の方の3名の方で対応をしないと、させていただくという回答をいただいております。なお、近鉄さんの要望としまして交通費と旅費については辞退すると、いつも四日市市役所の会議に出ているときもそうされているということでもあります。

日程については、こちらから提示した中で、4月18日の午後1時30分からに合わせていただけるというお答えで、私からの提案であります。

3番、質問事項を事前に詳しく提示してほしいということだったそうで、これは正副委員長と都市整備部のほうで、前回の議論をもとに調整をしましたので、このような内容で事前に近鉄に示すという提案をさせていただきたいと思います。

それでは事務局、朗読をお願いします。

栗田議会事務局主事

それでは、順番に読み上げさせていただきます。参考人への質問事項といたしまして、1番として、近畿日本鉄道株式会社の経営状況についてということでございます。1)としまして、御社の鉄道事業全体としての経営状況はどのような状況ですか。2)としまして、その中で近鉄内部・八王子線の経営状況はどのような状況ですか。3)としまして、

上記をふまえた近鉄の考え方について、 ) 内部・八王子線の赤字について、御社の鉄道事業全体収支の中で吸収できないのでしょうか。例えば、近鉄内部・八王子線利用者の約75%は近鉄名古屋本線などへの乗り継ぎ利用者と聞いており、鉄道支線があつての鉄道本線と考えますが、御社の考えはいかがですか。 ) 公共交通を担う輸送事業者としての役割についての御社の考えはいかがですか。例えば、赤字がなくなればよいという考えなのか、御社の考えをお聞かせください。

2番といたしまして、近鉄内部・八王子線を鉄道として存続させることについて。1)といたしまして、近畿日本鉄道株式会社として存続させる場合についてでございます。

)として、近畿日本鉄道株式会社として近鉄内部・八王子線を存続させる場合における経営形態について御社の考えはいかがですか。例えば、伊賀線、養老線のような御社の100%子会社によるケースなどが考えられますが、そのような場合についての御社の考えをお聞かせください。 )として、また、車両更新や通常の施設の維持補修以外に、近鉄内部・八王子線で今後必要と想定される施設改良などのハード整備はどのようなものがありますか。 )として、存続させる場合に国、県、市など行政側に対して期待する支援策はどのようなものがありますか。2)といたしまして、近畿日本鉄道株式会社以外で鉄道として存続させる場合についてでございます。 )としまして、御社以外で鉄道として存続させる手法として第三者譲渡が想定されますが、そういった他社譲渡に関する御社が考える譲渡の条件や考え方はいかがですか。 )としまして、その他、他社譲渡などに関する御社の考えがあればお聞かせください。

以上でございます。

豊田政典委員長

はい、ありがとうございました。

申し遅れましたが、傍聴の方が2名入られております。

都市整備部のほうで補足があれば出してください。ないですね。よろしいですか。

それでは、みなさんの意見をお伺いした上で、決定していただきたいと思いますが、事項書の1番と2番、参考人の3名と日程、4月18日の午後1時30分からというのはいかがでしょう。よろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

では、必ず出席いただきますように調整をお願いいたします。

3番目の質問事項を朗読いただきました。これは、事前の打ち合わせの中での、向こうからの意向も受けて、それから前回の議論を受けて作らせていただいた案です。ご質疑やご意見があれば出してください。

日置記平委員

質問事項は相手には伝わっているんですか。これからですか。

館都市整備部理事

まだ伝わってございませんが。

日置記平委員

非常にいいまとめ方をしていただいています。若干気になるのが1番目の1) 御社の鉄道事業全体としての経営状況はどのような状況ですか。というのは、これは答えなくてもいいところの部分なんです。これをもしここでやったら、そんなもんあかんやないか、あんたらいい加減にしとけ。という、いや、答えてくれなかった時の話です。多分私が想像するに、ここは回答できませんというのが大きいような気がいたします。ただ、2番目は、これはどこまで回答してくれるかわかりませんが、してくれると思っていますが、全体の中の経営状況というのは株主総会で発表する範囲のものはいいかもしれませんが、詳しくは余り期待できないのではないのかなと、そんなことを今言う必要はありませんけど、私はそのように感じるということを申し上げました。

豊田政典委員長

傍聴者がもう一人入られました。

少し説明を補足しますと、近鉄からの要請で、これを示した上で、当日の1週間から10日ぐらい前に正副委員長と会いたいと、更なる打ち合わせをしたいということですので、その場で例えば、これは事前に送りますけれども、ここは無理であるとか、可能であるとかいうやり取りはあると思います。それもお含みおきいただいた上でお考えいただきました

いなと思いますが。今の件で何かコメントというか、日置委員の意見に対して何か補足しておくことはありますか。

館都市整備部理事

質問事項については近鉄と一切お話してございませんので、わかりません。

豊田政典委員長

そしたら、示させていただいたものについて、聞くのは悪くないんじゃないかと。

日置記平委員

そうそう、聞くのは悪くない。

豊田政典委員長

聞いてもいいんじゃないかということであれば、出させていただいて、だめならだめと言ってくるでしょうと。そういった扱いでいいですかね。

(異議なし)

豊田政典委員長

では、そうします。ほかにどうでしょうか。

毛利彰男委員

それで別にいいと思うんやけど、ちょっとお尋ねしたいのが交渉人、みなさん交渉人やね。ずっと交渉してきておるわけですよ。それで、この質問の中身は交渉人として当然理解しておかないかんことばっかやわね。僕らは近鉄の人たちに初めてお伺いするんやけどさ。今まで細かな交渉をしてこられたあなた方は、これの答えをもう持っていなきゃならないと思うんやけど、どうなんですか。

館都市整備部理事

当然、事務レベルでいろいろ打ち合わせをするときに、こういったことはありますかと

いったようなお尋ねをしたり、そういったことを相互にしていますが、それが近鉄さんの正式なものとして返ってきているというところまでは至っておりませんので、ある意味、私どもとしては今回、こういう場で近鉄さんがお話されるということは、近鉄さんの総意としてお答えされるものと期待してございます。

毛利彰男委員

正式にもらわなきゃならないこともかなりあると思うんですけど、それはなぜ今までされてないんですか。

館都市整備部理事

例えば、これの1番の経営状況などにつきましては、内容の深さはともかくとしまして、以前にも資料として近鉄さんと共同で作った資料をここにも提出をさせていただいてございますが、それはあくまで資料として提出しているものでございますので、1番あたりは、もしかすると、既に資料として提出させていただいているものよりも詳しいものが出るかもしれないといったところかと思えます。

それから、2番のほうは、あくまでこれは、市としてまだ、どの形態で残していくのかということについて意思決定をしているわけではございませんので、正式な回答をこちらも言っていませんし、向こうも言っていないという、そういった状況であろうかと思えます。

毛利彰男委員

よくわかりました。

2番を出すことがタイミング的にどうかという、そういった戦術であろうと多分思うんですけども、これは公式の場で公式の答弁をいただくという、すごく前進した話になると思うんですよ。だから、私の気持ちとしては本来、交渉の中で2番の部分についても当たりをつけながら確実に掴んでいくということが、本来ならば進められなければならなかったんじゃないかというふうに思っているんですけども、この参考人招致の場面というのは心してかからなければならない部分かなというふうな気持ちを持っていますけれども、以上です。

豊田政典委員長

ほかにどうでしょうか。

毛利彰男委員

これから先の話ですけれども、きょうそれを決める必要は何もないんですけれども、聞いてどうするのと、そこら辺のところはこの委員会としても筋道を考えていかなきゃならない部分かと思うんですよね。

豊田政典委員長

ありがとうございます。

ちなみに、事項書の下の部分に今後の予定がありまして、今後の5回のうちの3回目になりますので、その前後で、その件については議論ができると思います。

ほかにいかがでしょうか。

(なし)

豊田政典委員長

なければ、ペーパーの内容で近鉄に出して、事前に正副委員長と近鉄とで交渉、交渉じゃなくて段取りの打ち合わせだと思いますが、そのように打ち合わせさせていただくということもご了解いただきたいと思います。

それでは、この内容で議長に報告していきたいと思います。どうもありがとうございました。本日はこれで終了します。

15 : 38 閉議